

まほく通信

第2回総会開催

平成19年6月2日

妻の郷岩出紀の川生活支援センターにおいて発足後初の通常総会が開催されました。

(写真下)

総会に先立ち、岩出保健所の小川保健師さん(写真左)より、現在の難病対策や岩出保健所での医療相談事業などの現況についてお話しいただきました。



総会には14名の会員が参加し、発足以降の事業報告や19年度の事業計画について熱心に討議いただきました。役員との選考では吉村ご夫妻より会長及び副会長を辞任したいとの動議がありましたが、引き続きお願いしたいとの意見が出され、全員の賛成を得て引き続き役員を続けていただくことに決まりました。

また岩出市に要望していました補助金については予算化されませんでした。紀の川市からは18万円の予算化が決定しました。なおこの予算化にあたり、紀の川市より呼び出しがあり、基本的な考え方について次のとおり説明をいただきました。

難病患者会は「きほく」に統一する。予算は紀の川市の会員に対して行う事業とする。

難病患者家族会「きほく」 相談窓口を設置

妻の郷・紀の川岩出生活支援センターの全面のご協力により「きほく」の難病相談窓口ができました。現在、受付には会員ボランティアでのご協力をお願いしています。是非ご利用下さい。

なお相談員は専門的な知識を持っている人たちではありませんが、難病患者やその家族の当事者として共感できる相談をモットーとしています。また同病の患者さんや患者会などとのつなぎ手であり、身近な情報を提供できるものと思いますので気軽にお電話下さい。

なお会員さんの状況伺いの電話をさせていただくこともあります。

【相談室電話】0736 - 77 - 5161

補助団体であるために会費を徴収すること。旧来補助していた桃山患者会へは別立予算ではなくなる。
桃山患者会会員も「きほく」に登録し、会費の徴収をする必要がある。
桃山の支部活動は引き続き行って下さい。また桃山へ支部活動費を拠出する等のことは、「きほく」のなかで議論した上で決めて戴きたい。
以上の表明がありました。事務局としても今後きほくが一丸となるよう努力して参ります。
ところで、会員の神森敦子さんが描かれた絵を絵がきにして販売し、収益金を会の財政に当てていただいています。皆さま方のご協力をお願いします。

県難病・子ども保健相談支援センターからのご案内

第1回ピアサポート研修会(ピアとは仲間という意味です)

平成19年7月28日(土)13:30~16:30 和歌山市中央コミュニティーセンター

関節リウマチ医療講演会

平成19年9月8日(土)13:30~16:00 県民文化会館3階特設会議室

難病患者の就労・年金・療養相談会

平成19年10月17日(水)13:30~15:30 和歌山ビッグ愛 1201会議室

< 疾患別交流会 >

- ベーチェット病 平成19年11月10日(土) 13:30~15:30
- シェーグレン症候群 平成19年11月18日(日) 13:30~15:30
- 原発性胆汁性肝硬変 平成19年12月 8日(土) 13:30~15:30
- 脊髄小脳変性症 平成19年12月15日(土) 13:30~15:30

会場：県難病・子ども保健相談支援センター

詳細は和歌山県難病・子ども保健相談支援センターへ073-445-0520

第4号

2007年
7月13日
発行

那賀地方
患者家族会
きほく

【会長
相談室
事務局】

吉村由里子
〒073-6612
0736(75)
森田敏子方
4413